第57号
昭和36年(1961)
8月10日発行

発行人
栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)2151番

広報とちお

栃尾市の人口
（7月末日現在）
世帯数　7,397
人口　38,179人
男　18,445人
女　19,734人

今月の市税
◇市県民税 第2期
◇国民健康保険税 8月分
納期　8月31日

昭和32年2月20日第三種郵便物認可　毎月10日発行(定価一部2円)

九月十五日現在で選挙人名簿作成

選挙権資格調査にご協力を

公正な選挙は、まず完全な名簿からはじまります。いうまでもなく完全な名簿とは、選挙権のあるすべての人が適法に名簿に登録されたものをいいます。選挙管理委員会では、今までの調製方法に改善を加えて、ことしから向う三カ年使用する調査用紙に切り替えました。

調査書は、一応昨年の選挙人名簿と住民票をもとにして有権者と推定される人を用紙に記入し、区長さん等から皆さんのお手もとに配布していただき、氏名等の誤記、現在すでに不在の人、あるいは、記入してないけれども実際には居住している人等を調べた上でそれぞれ備考欄等に補記していただきます。

二年目からは、選挙管理委員会で一応異動者を調査して皆さんのお手もとへ配布し、一年目と同様に調べていただく調査方法です。これは皆さんがたから毎年同じことを書いていただく手数をはぶくと同時に名簿をより完全なものにするという目的によるものでありますので、次の要領で調査書をお調べのうえ、補記確認して提出して下さい。

一、調査書に記入する人
㋑日本人であること
㋺昭和十六年十二月二十一日（二十一日を含む）までに生れた人
㋩ことしの六月十五日以前から栃尾市内に住んでいる人
㋥選挙権、被選挙権を停止中でない人

二、調査書の記入内容の確認方法
㋑記入した氏名、生年月日等に誤りはないか
㋺調査書に記入してある人で不在の人はないか
㋩一の要件を備えている人で記入してない人はないか

三、特に会社、工場等に寄宿する者の登録漏れまたは実家との二重登録を防ぐ意味から勤め人は、調査書用紙の勤務先欄は必ず書いてください。

会社、工場等で寄宿人を記入する際には、寄宿人の実家の部落名、世帯主名を備考欄に記入してください。

なお、この名簿は、ことしの十二月二十日から向う一年間公職選挙法の適用を受けるすべての選挙に用いられます。来年は、参議院議員通常選挙が行われる予定でありますが、国民としての基本的な権利義務を有効に行使するためにも完全な名簿調製にご協力くださるようお願いいたします。

（選挙管理委員会）

【写真説明】上は、永久橋にかけ替えられた神明橋　下は、樫出小の増築校舎（二教室）

第五回 市議会臨時会

乗用自動車購入を可決

第五回市議会臨時会が、さる七月十九日市役所で招集され、午前十時開議、会期を一日間ときめ、議長から議長会に出席した報告事項がありました。ただちにこの日の提出議案である。自動車（乗用）購入についてを上程、総務課長から提案説明があり、慎重審議の結果購入することに同意可決されました。

これは、現在の乗用自動車（ジープ式）が古くなり、いたんだため購入したいというもので予定価格は百三十一万円以内で購入先および型式は市長が指定することになっております。

市長から本会議を協議会に切替えて審議願いたいとの要望があり、十時五十分協議会に切替え、①南中学校建築工事請渡しのことについて、②守門山の避難小屋建設のことについて、③厚生会館建設のことについて、④ガス工事のことについて、⑥市役所の事務機構改善のことについて、⑥県道の舗装のことについて、をそれぞれ協議いたしました。

午後五時二十五分協議会を本会議に切替え、農業委員会委員のうち議会からの推薦によつてなつていた選任委員である大橋正賢、野沢喜之七、八木金吾、外山兵衛、斎藤勇吉の各氏が辞任されたことにより、その後任の推薦が行なわれ、次のかたを推薦することに決定し、午後六時十八分閉会しました。

八木金吾　本田新助
大橋正賢　野沢喜之七
猪俣弘男

神明橋（永久橋）など完成

岩神から下谷内に通ずる神明橋がいたんだため、昨年十二月から株式会社小林組によつて永久橋にかけ替工事が進められていましたが七月二十九日に完成しました。

この神明橋は、延長三三、二〇メートル、有効巾員三メートルの鉄骨コンクリート造りの永久橋であります。

樫出小増築工事 二教室も完成

樫出小学校の増築工事が六月二十八日完成しました。

この増築工事は、木造セメント瓦ぶき二階建（約一七四平方メートル）で、教室二教室（内二階は礼法室）であります。

工事は、十二月二日、工費百二十四万八千円で有限会社田村建設工業所が請負、このほど完成したものであります。

タバコは市内で買いましょう

人事発令

保健衛生課長補佐兼保険係長　田辺喜作
同　保健衛生課　大崎了介
同　税務課　葛綿律子

国民年金問答

【問】拠出制国民年金の強制加入該当者で、まだ加入の手続きが済んでいないかたがあると聞きますが、この人たちはどういうことになりますか。また、加入しないことによる不利益について説明してください。

【答】加入しない強制加入に該当されるかたは、結論から言いますと、必ず加入していただかなければなりません。これは法律に基いて一定の要件に該当する方はこの新しい国民年金制度を好むと好まざるとにかかわらず加入しなければならないことを義務づけているからです。

国民年金制度そのものに対する不満（例えば、死亡による保険料のかけ捨てや老令年金の支給開始年令の遅いこと）があるため、加入手続きを拒否されている向きも中にはありますが、これらの不満を解消するため再び次の臨時国会で改正法案が審議され四月にさかのぼつて実施される予定であるといわれておりますのでこの点については日時の問題であり、早晩解決されるはずであります。

強制加入該当者で未加入の場合は……

次に加入しないことによる不利益の点をあげますと①現在七十才以上になると一応老令福祉年金が年額一二、〇〇〇円支給されますが、強制加入に該当するかたが加入の手続きをせず被保険者とならない場合は七十才になつてももちろん年金は支給されないばかりか障害や母子年金からも締め出されることになりますので国民年金からは、まつたく見離なされることになるわけです。②所得が少ないなどの理由により保険料を掛けることができない場合は、保険料免除の特典があります。しかし、この特典もさかのぼつて適用するということはありませんので加入の手続きが遅れればそれまでの間の保険料は必ず掛けなければならないのです。③強制加入に該当するかたは昨年十月一日に資格を取得し四月から保険料を掛けなければなりません。したがつて加入の手続きの時期が四月以降いつであつても四月からの保険料を納めていただかなければなりません。そのために一度に多額の保険料を用意しなければならなくなります。

農委・会長など再選

市農業委員会会長嘉代善一氏及び県農業会議一号会議員大橋正賢氏は、七月二十四日づけで辞意を表明し、翌二十五日開催された農業委員会の定例総会で辞表が受理され、同日互選会を行ない、その結果会長に嘉代善一氏が再選されました。

県農業会議一号会議員には大橋正賢氏が再指名されました。なお、会長代理高橋定生氏は引続き在任されております。

建設中の工事

▽栃尾中学校体育館増築工事
現在建築されてある体育館と同面積の増築とステージを新築するもので、建物は鉄骨造平家一部地下室で、延面積は約一、〇〇七平方メートル（三〇五・三五五坪）請負額は千八百万円で合資会社佐藤土建（見附市）が施工、完成は八月三十一日の予定。

▽厚生会館新築工事
鉄骨コンクリート三階建塔屋付けで延面積約一、二五七平方メートル（三八一・一一坪）で請負金額二千六百二十七万円で合資会社佐藤土建（見附市）が施工、完成は十一月三十日。

▽公営住宅新築工事
元中道小学校跡へ建設されるもので、面積約三〇平方メートル（九坪）の木造瓦ぶき住宅を十戸新築。

請負金額は、三百三十八万円で株式会社多田組（平）が施工、完成は十月三十一日。

▽南中学校新築工事
市内木山沢に新築されるもので、本校舎（木造高圧セメント瓦ぶき二階建一部平家建）の他付属建物などを造るもので、延面積約一、九二〇平方メートル（五八一・九二四坪）請負金額は二千三百万円で共栄土建株式会社（一之渡戸）が施工、なお、完成は十二月二十日の予定。

毎週火金曜日に断水 水道工事にご理解を

家庭の水道引込み工事をすすめており、本管に接続工事をするため毎週火曜日と金曜日の午前十時から午後四時までの間、約一時間断水することがありますのでみなさまのご協力をお願いいたします。

なお、水道の使用について次の点に注意してください。
①水栓にゴムホース等をつけて浴そう、洗たくそう、たらいなどにゴムホースを直接入れないこと。
②無断で給水工事はできません。
③漏水等がありました時はすぐガス水道課に連絡願います。
④その他お気付きの点がありましたらお知らせください。

納税貯蓄組合に加入しましょう

納税貯蓄組合法が制定されてことしで十周年になります。

この間貯蓄組合は飛躍的に発展し、組合員数もしだいに増加し納税者のよき相談相手として喜ばれる組合になつてきました。しかしまだこの制度を知らないため、未加入の者も多く特に法人組織の会社ではこの制度を利用している会社が少ないようですから進んで加入し納税上の恩典を有利に利用し楽な納税計画をたてましょう。なお組織加入などについての詳しいことは長岡税務署へおたずねください

乳児検診を実施

県ベビーコンクール 三才児コンクール 予選もかね

ことし第二回の乳児検診が県赤ちゃんコンクール、三才児コンクール栃尾地区予選をかね八月二十二日から九月八日まで各地区で実施されます。

乳児検診及び県赤ちゃんコンクールの対象者は、昭和三十五年九月一日から昭和三十六年二月二十八日までに生れた者、三才児コンタールの対象者は、昭和三十二年四月二日から昭和三十三年四月一日までに生れた者です。

あなたのお子さまの将来の成育にたいせつな時期ですから、指定された日時・場所で必ず検診を受けてください。

◎日時・場所
八月二十二日午後一時三〇分～三時　入東谷公民館
八月二十三日午後一時三〇分～三時　上塩小学校
八月二十四日午後一時三〇分～三時　半蔵金小学校
八月二十五日午後一時三〇分～三時　中野俣小学校
八月二十九日午後一時三〇分～三時　樫出小学校
八月　三十日午後一時三〇分～三時　東谷小学校
八月三十一日午後一時三〇分～三時　栃畑小学校
九月　一日午後一時三〇分～三時　西谷小学校
九月　五日午後一時三〇分～三時　荷頃小学校
九月　六日午後一時三〇分～三時　栃尾小学校
九月　七日　〃　〃
九月　八日　〃　〃
九月十五日　第二次審査　栃尾保健所

十三万円を寄付

国体予選県相撲大会純益金

国体予選新潟県相撲大会が去る七月二十四日栃尾好角会有志のご協力により秋葉神社境内の相撲場で開催いたしました。

みなさんのご理解あるご声援により盛大に終了できましたことを深く感謝申し上げます。その経理の内容を別表のとおりお知らせいたします。

なお、純益金は、厚生会館建設資金の内、放送設備購入費にあてる予定とし、栃尾市収入役に保管していただいております。（栃尾市公民館）

収支明細

栃尾市公民館

収入の部	
大人前売券	54.750円
小供前売券	1.100
A坪券	103.000
B坪券	45.375
C坪券	27.000
寄附 市議会議員団	15.000
栃尾整染KK	20.000
紺藤整染KK	15.000
織物組合	10.000
商工会	10.000
その他の祝儀	6.500
計	307.725
支出の部	
旅費	45.550円
県役員・選手宿泊費	27.200
人件費	21.600
材料費	11.586
アンプ借用代	1.300
賞品代	11.650
衛生費	760
ポスター印刷費等（宣伝費）	5.200
食費	45.640
雑費	3.012
謝礼	3.000
計	176.498

純益金　131.227円

水害地へ見舞金

去る七月中部地方をおそつた豪雨によつていたるところで大きな被害がありましたが、これらの被害地へと次のかたがたから暖かい見舞金品が寄せられてきました。市福祉事務所では少しでも早く喜こんでいただこうと早速これら見舞金品を被災地へ送りました。

▽新町婦人会（代表石原リウ）から　一三七八円
▽秋葉会（金内昌宏外二名）から　三〇〇〇円
▽栃高定時制中心校生徒会から　二一二〇円　衣類　六点
▽佐藤熊太郎（一之渡戸）さんから　衣類二〇点

社会教育委員委嘱さる

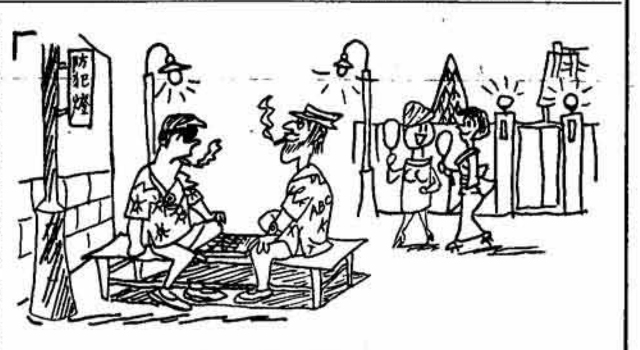
社会教育委員が七月一日づけ委嘱されることになりました。これは今までの社会教育委員が任期満了となつたため栃尾市教育長が委員となる候補者をあげ、委員会の選定した次の十六名のかたがたに委嘱したものであります。（敬称略　カッコ内には町名又は学名と職名を記入）

笠原升（上ノ原　栃尾中学校長）　大島志津乃（三光　市婦人会連絡協議会長）　酒井幹雄（北荷頃　市連合青年団長）　細田貞治郎（岩神　市PTA連絡協議会長）　石田藤蔵（下谷内　市会議員）　佐藤義信（大町　司法保護司民生委員）　佐野栄吉（岩神区長会長）　武士俣良一（天下島　織物協同組合監事）　西片栄市郎（上樫出　農業）　山井五郎（塩中　市会議員）　仲野長雄（栃畑　農業）　今井正義（本津川　農業）　大崎龍伍（吹谷　市会議員）　多田哲（田之口　農業）　金内卓司（西中野俣　中野俣郵便局長）　山内正（半蔵金　農業）

公民館運営審議委員委嘱

公民館運営審議委員が七月一日づけで委嘱されることになりました。これも社会教育法の定めによつて、栃尾市教育長が委員となる候補者をあげ、委員会の選定した三十名のかたがたに委嘱したものであります。氏名は次のとおりであります。（敬称略、カッコ内には町名又は字名と職名を記入）

閏清太郎（土々町、栃尾小学校長）　山口信（新町、市婦人会役員）　木間一志（松尾、市連合青年団副団長）　目黒八太郎（大川戸、市PTA連絡協議会副会長）　星奎吾（大野、農協代表）　高橋清二郎（天下島、織維従業員組合長）　桐生正司（上谷内、商工会常任理事）　千野健二（滝之下、織物工業協同組合）　若杉万治（文納、農業）　山井惣一郎（二日町、農業）　五十嵐善一郎（下樫出、農業）　稲田粂治（楡原、農業）　橘物三（滝ノ口、農業）　佐野長雄（山葵谷、農業）　今井千代（大野原、農業）　島ケイ（栃畑、栃畑婦人会長）　樺藤助（平、農業）　椎谷金兵衛（赤谷、農業）　佐藤一夫（来伝、農業）　井田信四郎（栗山沢、養蚕実行委員長）　佐藤秀夫（北荷頃、農業）　高島梅一（一之貝、農業）　佐藤新蔵（比礼、農業）　多田マサ（田之口、農業）　稲葉正雄（西野俣、農業）　諏佐久雄（新山、森林組合書記）　林熊永（西中野俣、農業）　諸橋カホル（半蔵金、農業）　石丸大作（半蔵金、農業）



―入国拒否―

「こう町が明るくちや　商売にならねえもんな」

暴力団の閉め出し八月中

引揚者給付金の支給範囲変る

引揚者給付金の一部が改正され、次の地域から今次大戦の開戦前、又は大戦中に政府および軍の要請により、本邦に引揚られた人に対し、次に該当する引揚者給付金および遺族給付金が支給されることに加えられました。これらの引揚者給付金請求期間が一年間延長されましたので、該当されるかたは早く手続きをしてください。なお、詳細のことは市厚生課へお問い合せください。

引揚者給付金

▽日本のもと委任統治領であつた南洋群島（昭和十八年十二月二十一日～昭和十九年十二月十八日まで引揚げた者）
▽フイリピン諸島（昭和十九年九月一日～昭和十九年十二月三十一日まで引揚げた者）
▽もとの蘭領東印度諸島、もとの英領マレイ半島（昭和十六年九月一日～昭和十六年十二月十二日まで引揚げた者）

遺族給付金

▽日本のもと委任統治領であつた南洋群島（昭和十八年十月一日～昭和二十年八月十四日までに死亡した者）
▽フイリピン諸島（昭和十九年七月一日～昭和二十年八月十四日までに死亡した者）
▽もとの蘭領東印度諸島、もとの英領マレイ半島、英領ボルネオ（昭和十六年八月一日～昭和十六年十二月七日までに死亡した者）

盆おどりは明朗に

盆おどりを八月十五・十六・十七・二十六・二十七日の五夜、栃尾小学校グランドで盛大に行いますから、皆さん多数参加してください。

なお、盆おどりに備いて、各地区で栃尾甚句の普及を図つていることと思いますが、野卑な歌詞やみだらな歌は絶対にやめて楽しいひとときとなるようにいたしましょう。

場所は明るくするようにいたしましょう。また、酒がなければ行事ができないようではレクリエーションの目的が達せられません。打合せのときは明朗なものとなるよう計画をいたしましょう。

個人事業税は 八月三十一日までに

▽県税は昭和三十五年度を準備期間として、集金的な訪問徴収を避けてきましたが、本年度から自主納税の完全実施に移ることにいたしております。正しい申告と、納期内に自ら納税していただくことが自主納税であり税の正しい姿なのであります。皆さんの理解とご協力をお願いいたします。

▽納税に不審がおありの場合は、納期限までに早めにご相談ください。

▽計画的に楽な納税ができるよう「納税貯蓄組合」に加入されることをおすすめします。

▽個人事業税の第一期分、納期限は八月三十一日です。徴税令書は八月二十日頃お手許に届きますから、早めに計画していただいて、納期限までに完納されるようお願いします。

（長岡財務事務所）

国民金融公庫貸出しのお知らせ

●申込〆切日
毎月五日・二十日
●申込場所
栃尾信用金庫、栃尾商工会、市産業課

衛生行事メモ

ジフテリヤ 百日せき 混合注射

（第一回目）
十八日一、三〇～三　栃尾小
二一日一、三〇～三　栃尾小
二三日一、三〇～三　荷頃小
二四日一、三〇～三　樫出小
二五日一、三〇～三　上塩小
二八日一、三〇～三　東谷小
二九日一、三〇～三　西谷小
三〇日一、三〇～三　中野俣小
三一日一、三〇～三　半蔵金小
九月一日一、三〇～三　入東谷公

（第二回目）
九月十一日一、三〇～三　栃尾小学校
十二日一、三〇～三　荷頃小
十三日一、三〇～三　樫出小
十四日一、三〇～三　西谷小
十八日一、三〇～三　東谷小
十九日一、三〇～三　中野俣小
二〇日一、三〇～三　入東谷公
二一日一、三〇～三　塩川小
二一日一、三〇～三　半蔵金小
二二日一、三〇～三　上塩小

教育関係寄附

寄附を受けた機関	品目	数量	金額【】内見積価格	寄附者氏名（敬称略）
栃尾小	放送施設改造資金		二〇〇、〇〇〇	栃尾小PTA 代表 稲田貞治郎
樫出小	トヨタミシン一式		【二四、〇〇〇】	樫出小樫の実児童会 代表 関根学
川谷小	ピアノ購入資金		三〇、〇〇〇	川谷小後援会 代表 稲田粂治 川谷小PTA 代表 矢沢栄蔵
上塩中	鋼鉄製書庫	一個	【七、五〇〇】	上塩中第十四回卒業生 代表 青木敏子
	手提用金庫	一個	【二、二〇〇】	
	優勝カップ	一個	【二、四〇〇】	上谷内 小林スポーツ店
	折りたたみ椅子	十脚	【七、五〇〇】	上塩中PTA 代表 山井五郎
	スチームアイロン	一個	【二、二〇〇】	
	バレー支柱	一組	【二、〇〇〇】	
	工作用具棚	一個	【五、〇〇〇】	
	石油コンロ	一個	【三、六〇〇】	
	人台	一個	【二、六〇〇】	
一之貝小軽井沢分	テープレコーダー	一式	【三六、三三〇】	軽井沢区 代表 多田虎雄